

## タン・ロック高齢者・障害者介護支援センターでの質疑応答

(日本側) 外出は自由なのか？

(タン・ロック) この施設で受け入れている方は、具体的には2種類いる。縁者はいるが送られてきた人と身寄りのない人、二つ目は浮浪者、ホームレスの2種類。前者は外出は自由だが、2後者は少し外出制限がある。

(日本側) 認知症の患者はどのくらいいるのか？

(タン・ロック) 277名の精神障害者の中に含まれている。60歳以上が239名、90-99歳が8名いる。こうした高齢者の方は記憶力が低下していたり、認知症の症状が出たりしている。

(日本側) 入りたいが入れずに待機している人は？

(タン・ロック) このセンターは国の管轄なので、ある一定の申請と許可が必要。各区の街区の人民委員会が、本当に身寄りがないと確認証明をし、許可手続きが終了した人たちがここで生活している。なぜなら、子供や孫がいても両親や祖父母の介護をしない、という事態を避けるため、こうした手続きを必要としている。ここで受け入れている人は、身寄りのない方々で、地域の許可承認があった方だ。

(日本側) 定員はないのか？

(タン・ロック) センターの敷地面積と部屋やベッド数によって600から650名と決まっている。

(日本側) 600名のうち60名は報酬を得て小遣いを得ているが、残りの人はお小遣いがあるのか？また、月24万ドンはベトナムの平均的な生活水準から見てどのような水準なのか？

(タン・ロック) 60名は収入を得ているが、これは本当に少なく3万から4万ドン程度。残りの人は、慈善団体からの寄付を分けることが出来ている。直接プレゼントを渡してくれている。また、旧正月に訪れた人がお年玉を直接くださる場合もある。このセンターでは、三食保証しているし、毛布や一年に二回は服も支給しているし、サンダルや着物も支給しているので、その他の朝コーヒーを飲む、などはその人の得た収入でやりくりしてもらっている。生活水準は、人によっ

て異なるが、一般的に食事に必要なものは50万ドンくらいと言われているので、半分くらいになる。ここでは食事も大量に作るので、経費がかなり節減でき、24万ドンでも3食作る事が出来る。

(日本側) もとは18万ドンとのことだが、24万ドンはどのような基準で支給されているのか。

(タン・ロック) 月に18万ドンは国の予算から降りて来るお金。高齢者に対してはこの基準が決まっている。ホーチミン市の労働省文化社会局管轄の三つのセンターで3000人くらいが入居している。この施設で600から650名、チャンフーホワでは1500名、もう一つの施設で1000名ほどが生活している。